特集2 ミヤラジ開局3カ月

コミュニティFM局「ミヤラジ」、77・3MHzで放送開始！

宇都宮という地域を盛り上げる、新たなローカルメディアの3カ月

3月8日、宇都宮市に県内2番目のコミュニティFM局「ミヤラジ」（株式会社宇都宮コミュニティメディア）が周波数77・3MHzで開局し、各方面で話題になっています。6月で開局3カ月となるミヤラジは、地域情報発信拠点のひとつとしても、大いに注目されています。稲葉克明社長に話をうかがいました。

宇都宮市内に向けて情報を発信するミヤラジのスタジオ

㈱宇都宮コミュニティメディア（ミヤラジ）
代表取締役　稲葉克明さん

反響の多さにうれしい驚き

ローカルメディアの新しい波として、全国に広がりつつある「コミュニティFM」。近年、開局に関する規制が緩和されたことで、これまでの「災害（非常時）の際の情報提供」という役割から、「地域情報発信」へとシフトしつつあります。

栃木市に続き県内2番目の開局となったミヤラジ。今年3月8日（水）に正式に開局してから、約3カ月。同社の稲葉克明社長に手応えをうかがうと「思った以上に反響をいただいて、驚いています」と笑顔を見せました。

「特に強く感じているのは、通して聴いてくださるリスナーさんが多いのだなということです。家ですっとかけてくださったり、店舗で流していてくださったりして、聴いていただいている方が、かなりいらっしゃるようです」

反響が多いということは、稲葉社長はじめスタッフのやる気にもつながってきます。

「もちろん、お褒めいただくだけではなく、お叱りをいただくこともあります。私の感じで言えば、お叱り半分激励半分、というところでしょうか。お叱りのご意見も、全面否定ではなく、前向きのものが多いように感じています。それだけ熱心に聴いてくださっているのだと思っています」

幅広いリスナー層にアピール

ミヤラジにチューニングを合わせると、若い人から年配の人まで、さまざまな年齢層のパーソナリティーに出会うことができます。同じラジオでも、レディオベリー（エフエム栃木）やCRT栃木放送とはかなりイメージが違います。

若いリスナー層の多いレディオベリー、比較的年齢層の高いCRT栃木放送、と いわれるように、「年齢層」で放送局の特徴を付けやすい既存ラジオ局とは異なり、ミヤラジは「地域」を対象に、すべての年齢層向けに番組編成を行うことが不可欠です。既存ラジオ局との役割の違いを明確にしながら、地域にこだわった情報を発信していく……番組を聴いていると、そのような姿勢が感じられます。そのために、自分の住んでいる街の情報が流れてくることに新しさを感じる層が、徐々にミヤラジに惹きつけられているのかも知れません。

「ミヤラジでは、スポンサー料金も低く設定していますので、地域の小規模企業や個人店でも無理せずにCMや番組を持つことができます。リスナーからすると、既存局では耳にしない会社名、商店名を聴くことができますから、そこが新鮮に感じられるようですね」

スポンサーの中には、自身が出演して話をする人も少なくありません。企業経営者、商店主など、幅広い方々が登場して、電波に言葉を乗せています。このバラエティーの広さも、実はミヤラジの魅力の一つです。

「私どもには12人のスタッフ・パーソナリティーがいます。経験不足から、番組進行面やトーク技術面でのお叱りをいただくこともある一方で『適度な間が入るので、何かをやりながら聴くにはちょうど良く感じる』との声もいただいています」

ここで重要なのは、ミヤラジがコミュニティFM局だという点です。流暢なトークよりも、伝えたい情報・広めたい情報をしっかりと伝えることのできる番組進行やトーク技術が求められますから、既存の放送局とは目指すものが違っています。今度ミヤラジにチューニングを合わせる時、そういった面に注意して聴いてみると、また新しい魅力を感じることができるかも知れません。

たくさんのゲストも魅力のひとつ

ゲストが多いのも、コミュニティFM局全体の特徴と言っていいでしょう。もちろん、ミヤラジにも毎日さまざまなゲストが登場します。これが放送内容に彩りを与えます。

「私どもは基本的にフリートークで、ゲストの方にも話したいことを話していただいています。皆さん、最初はかなり緊張しておられますが、番組が終わる頃には『楽しかった』『また出たい』とおしゃってくださいます」

番組に出ると、多くの人は写真を撮影してそれをSNSにアップしています。それがまた、ミヤラジや個々の番組の宣伝にもつながっているようです。

また、原則としてミヤラジはスタジオからの生放送です。既存局のように事前収録が間に入ったり、各地と中継をつないでいくことは、それほど多くありません。その代わりに情報を発信したいゲストや、ユニークな知識・情報を持っているゲストを招いてスタジオで話してもらうスタイルが中心となっています。これが、ミヤラジらしいスタイルとなっているようです。

ミヤラジでは「ミヤラジメンバーズクラブ」を作り、無料でメンバーズカードを発行。それを提示するとさまざまな特典をつけてもらえる店も増えています。店は定期的に発行する『ミヤラジ+（プラス）』に掲載されています。

このシステムは、店舗にとっても安価な掲載料（1回1万円程度）で番組内での紹介もしてもらえるので、集客・宣伝ともにメリットが大きいと言えます。実際に『ミヤラジ+』への問い合わせも、日を追って増えているそうです。

「今後はさまざまなイベントとのコラボや独自イベントでの情報発信も、視野に入れています」と話す稲葉社長。

「7月以降には、防災や防犯、健康、まちづくりといった情報の発信も増やしていく予定です。おもしろい番組であるとともに、聴いて役に立つ番組づくりをしたいと考えています」

手前の機材があるのが、番組を送り出す作業をするミキシングルーム

コミュニティを盛り上げる番組を

スタッフ・パーソナリティ
中川享子さん

ミヤラジを支えるパーソナリティーの1人、中川享子さん。「何か新しいことにチャレンジしたくて」ミヤラジのスタッフ募集に応募したところ、採用となったそうです。現在はいくつかの番組でパーソナリティーとして活躍しています。ご本人によれば「午前中の番組が比較的多い」とのこと。ミヤラジの朝の顔の1人です。

「宇都宮にはすてきな場所、店、人が多いので、その魅力を伝えたい」と考えている中川さん。これまで、まちづくり団体やNPO、ボランティアなど、街を支える活動をしている人をゲストに迎えて話を聞くことが多かったそうです。

「皆さん、すばらしい方ばかり」と微笑みます。「そういう方々を紹介しつつ、お互いを横につなげていくのも、ミヤラジの仕事だなと感じます。街を元気にするのは人。人が活躍すればコミュニティも盛り上がります。その一助になりたいと思います。リスナーの皆さんも、発信したいことや話したいことがあれば、どんどんミヤラジを利用してください」

楽しそうにそう話す中川さんのお話からラジオも、宇都宮も、人も大好きな個性が伝わってきます。

問合せ

株式会社宇都宮コミュニティメディア
宇都宮市江野町7-8 堺屋ビル2階
☎028-666-7897
https://www.miyaradi.com/

ミキシングルームで打ち合わせをする稲葉社長（右）と中川さん

77.3FM 宇都宮コミュニティFM
ミヤラジ
つたわる、つながる、うつのみや

最近は目にする機会が急増したミヤラジのロゴ